

# NPO・市民活動って何？

## 1. NPO・市民活動とは

NPO（Non-Profit Organization）は、市民自らの価値観、信念、関心に基づいて、住みよい地域づくりや市民生活を豊かにするといった、地域のさまざまなニーズ、地域や社会の課題の解決を目指します。趣味のサークルとは違い、継続的な事業として、社会問題の解決を目的に活動する民間の非営利の組織です。

NPOとは、NPO法人と混同されますが、法人や任意団体の区別はありません。市民が主体となって進める公益的な活動は、市民活動と呼ぶこともありますが、最近ではNPO活動と表現されることが多くなってきました。

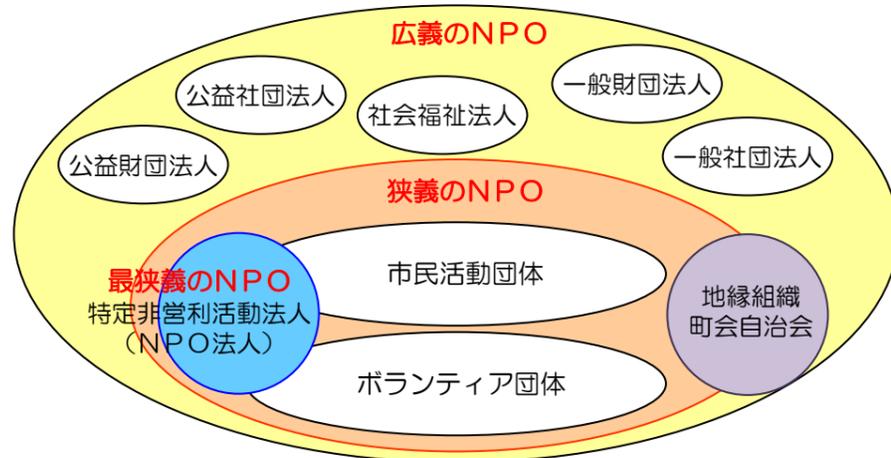
NPO活動は、ボランティア活動や町会自治会などの活動も含み、さまざまな分野（福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力等）で、社会の多様化したニーズに応える重要な役割を果たすことが期待されています。

### NPO・市民活動の特徴

- 市民の自主性・自発性に基づく活動です
- 不特定多数を対象とした公益的な活動です
- 継続的に行われる活動です
- 営利を目的としない活動です

### 特定非営利活動法人（NPO法人）

NPO活動を行う法人格を持った団体です。正式には特定非営利活動法人といますが、NPO法人という言い方が一般的になっています。特定非営利活動促進法が定める20分野の活動で、不特定かつ多数の利益に寄与することを目的としています。活動分野を20に限定しているため「特定」といいます。非営利は無報酬と混同されがちですが、非営利事業とは利益をあげてはいけないわけではありません。人件費や家賃などの経費を除く利益を、構成員で分配せずに、団体の社会貢献活動に充てる活動のことをいいます。



### ボランティア活動

ボランティア活動は、基本的には、個人の自発的、主体的な意志によって、個人、団体が、他の人や社会のために行う活動です。有償ボランティアもありますが、報酬を目的とした活動ではありません。

### 地縁組織・町会自治会

居住地域が同じ、利害を共にする共同社会で、住民相互の交流が行われている地域社会、そのような人々の集まりの集団です。地域のつながりの中で住民の安心・安全を守る町会自治会などの活動です。

## 2. これからのNPO

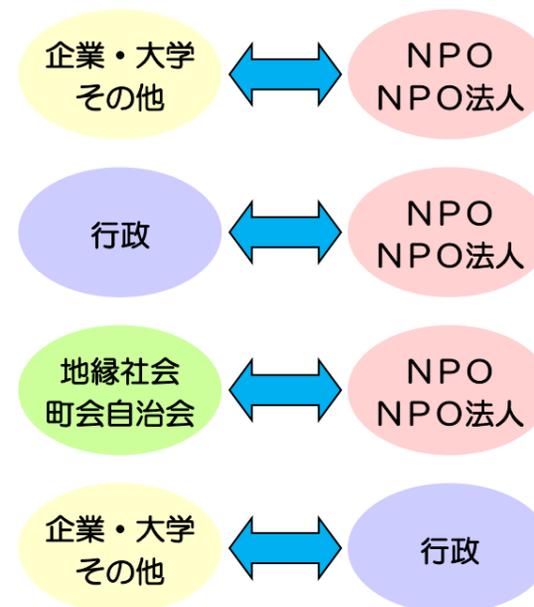
「よりよい社会を作るための、市民の、市民による、市民のための自発的、自主的な活動」は、地域社会においてさまざまな課題に取り組んできました。しかし、近年の経済の低迷、そしてこれまで前例のない少子高齢化の進行に伴うニーズの多様化により、個々の団体や単独の想いだけでは課題への取り組みや解決が難しい状況が生まれつつあります。こうした中、個別の活動や居住地域の枠を超えた関係性も生まれ、さまざまなセクターが連携・協働、または総働することによって地域課題の解決に取り組むことが求められるようになりました。

「協働」とは、立場の違う団体同士が、「共通の社会的な目的」のために、それぞれの特性を生かし、対等の立場で協力することをいいます。最近では、NPOと行政、NPOと企業などの協働が進みつつあります。「協働」では、協働する相手とNPOの自立性を保った対等な関わり方が大切です。行政や企業と対等に向き合うためにも、NPOは組織力をつけ、信頼されるだけの力を備えることが求められています。

最近では、こうした1対1の関係から、さまざまな立場の団体が、みんなで協力する「総働」という考え方が注目されています。「総働」においても、「協働」と同じくお互い対等な関係が望ましく、NPOの自立した体制が必要です。それぞれの団体が自立した存在として、団体同士が強みと弱みを補い合うことで、今まで以上の効果が期待できます。

### 協働

団体や組織が連携をして、社会課題などの解決のために協力して、共に働く



### 総働

さまざまな団体や組織が、資源を持ち寄って、社会課題や理想を共有して担う

